

本部だより

●第45号



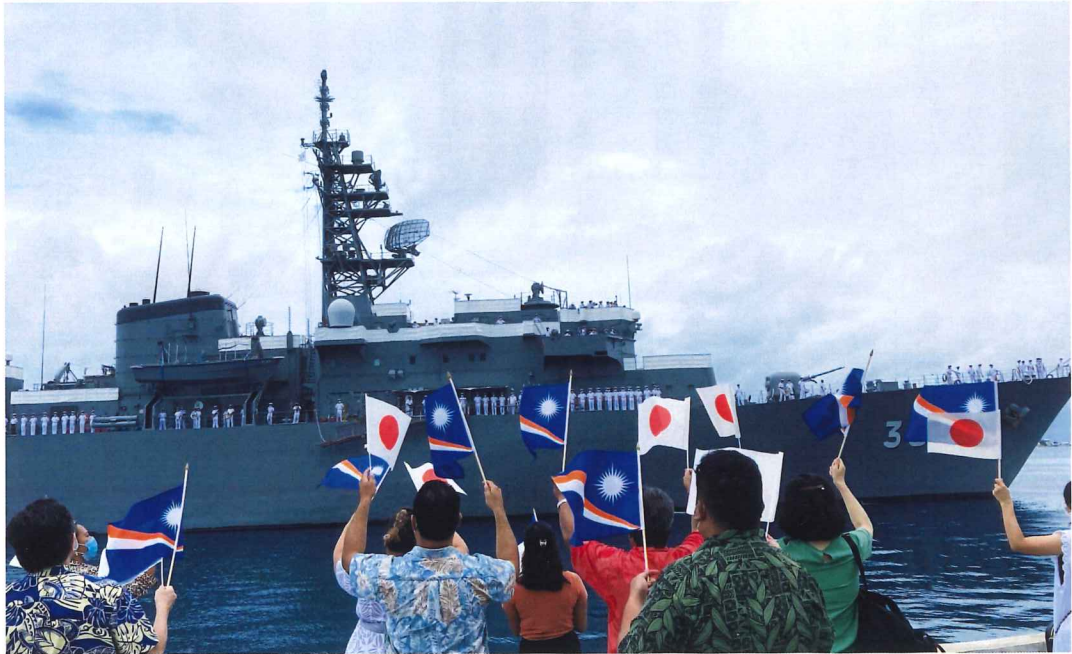
マーシャル方面遺族会

<http://mibfa1926.com>



携帯サイト

- 発行日: 令和4年2月1日 ●発行人: 高林芳夫
- 本部: 181-0012 東京都三鷹市上連雀8-7-8
- 電話 & FAX: 0422-77-8557 ●編集人: 鈴木千春



海上自衛隊の練習艦「かしま」がはじめてマジュロを訪問(写真提供:在マーシャル日本国大使館)



新年あけましておめでとございます。

お健やかに新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

コロナ感染者が減少に転じてきました。東京都も一時期は多数でしたが、現在(令和三年12月時点)は、一日二桁まで減少しています。

先日、役員会にて検討し、令和四年の慰霊祭を開催致します。三年振りの慰霊祭となり、開催が出来る事に感謝しております。

桜満開のもと、皆様の元気な姿にお会いできます事を楽しみにしております。どうぞご家族で越し下さい。特に次世代を担う若者の参加を歓迎いたします。

我が国ではコロナが収束に向かっているかのように見えますが、まだまだ油断は出来ません。世界では変異株が発生しています。当日はマスク着用をお願い致します。

慰霊祭終了後は、会場を移して直会(懇親会)を行います。こちらも奮ってご参加下さい。

今年も皆様が、希望に満ちた年となりますようお祈り申し上げます。



令和4年度 慰霊祭、総会、直会ののご案内

三年振りとなる慰霊祭・総会を開催いたします。皆様お誘いあわせの上ご参列下さい。お子様、お孫さんの参加を歓迎いたします。

※遠方からの方の交通事情を考慮し、昇殿参拝の時間を遅く設定しました。

■日時 令和4年4月3日(日)

■受付 靖国神社参集殿前にて

10時より受付開始。

10時45分までに、お済ませ

ください。

■会場 参集殿二階「楠の間」

■総会 11時より同会場にて

一 議長 選出

一 開会の辞

一 あいさつ

一 活動報告

一 会計報告

一 会計監査報告

一 今年度行事予定

一 その他

一 閉会の辞

■集合写真 11時30分より(予定)

■慰霊祭 昇殿参拝 12時より

■直会(懇親会) 13時より

アルカディア市ヶ谷 2階

中国料理「翠(すい)」

会費お一人様 5千円

靖国神社より徒歩で移動し、お食事を

頂きながら親睦を図ります。皆様のご

参加をお待ちしております。

食品アレルギーのある方は返信はがき

にその旨、ご記入下さい。

終了時刻 15時予定

事務局よりお願い

●慰霊祭出欠はがき

同封のはがきに必要事項をご記入のう

え、2月末日までに本部へ届くよう投

函下さい。欠席の方も同様に投函下

さい。

●お振込みのお願い

同封の振込み用紙にて2月末日までに

振込みをお願いします。(振込手数料

は各自負担でお願いいたします)

◆年会費 3千円

◆慰霊祭参加者

お一人につき(お子様も)

玉串料 5百円

◆直会参加者 5千円

◆寄付金 任意ですが、ご協力を

お願いします。

当会は皆様からの会費と、ご寄付で運営しております。何卒ご協力をお願い申し上げます。

未納会費 納入のお願い

現在、前年度の会費未納者が31名おられます。振込みを忘れていらっしゃる方は、今年度分と合わせて振り込みをお願いします。

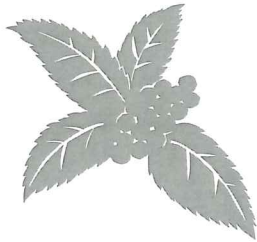


令和3年度 寄付者芳名(順不同)

令和3年7月～11月まで、左記の皆様よりご寄付をいただきました。

秋田県	打矢和子様	2千円
青森県	須藤明子様	3千円
埼玉県	諸橋恒一様	1万円
埼玉県	藤田朋子様	5千円
埼玉県	植田和明様	5千円
埼玉県	西勝章夫様	2千円
鹿児島県	大山節子様	5千円
神奈川県	岡野智津子様	2千円
神奈川県	池田 浩様	3千円
栃木県	猪瀬康夫様	1万円
茨城県	北条 晃様	7千円
静岡県	安西裕子様	7千円
合計		6万1千円

ありがとうございました。



参加者 高林夫妻、佐藤、米林夫妻、石澤、内海、小室、清水、白方、吉村、鈴木(敬称略)

永代神楽祭

令和3年7月15日、靖國神社にて当会の永代神楽祭を斎行いたしました。

今年は当会の提灯が最上段でした



当日はみたままつり

永代神楽祭に参加して 吉村真澄

今年初めてマニシヤル方面遺族会の皆様と靖國でお会いすることができました。

みたま祭り、終戦の日、新年などに数回個人的に靖國に参拝してました。私のひいおじと、戦地で同じ時を過ごされた英霊の遺族の方々と靖國本殿で正式参拝したというのもあり、今の日本、わたしたちのために自分を犠牲に遠い戦地で戦ってくれた英霊の方々への感謝の気持ちをいつも以上に強く感じました。

戦後76年、二度と戦争を繰り返さないために、戦争の記憶を風化させず、正しい歴史を学んでいきたいと思えます。

全国戦没者追悼式

令和3年の全国戦没者追悼式は、規模を昨年より縮小して実施されました。当会への招待は残念ながら、ありませんでした。

東京都戦没者追悼式 米林美智子

8月15日、コロナ禍で昨年に続き、規模を縮小し、会場も都庁第一本庁舎5階大会議室にて挙行されました。

- 一、開会
 - 一、国歌奏楽
 - 一、式辞 東京都知事
 - 一、黙とう
 - 一、天皇陛下のおことば(放送による)
 - 一、追悼のことば
 - 一、献花
 - 一、閉会
- オリンピック開催中の式典でした。小池都知事の式辞を紹介します。

「世界が一丸となつて難局を乗り越え、夢と希望にあふれた平和な世界を持続可能なものとして未来の子供たちへ引き継いでいくことをお誓い申し上げます」。

印象的で、心が熱くなるおことばでした。

ブラウン環礁の写真に関して



前号の会報、テレビ、ウェブサイトで、呼びかけました「ブラウン環礁の写真」について現状報告です。残念ながら当会にも、アメリカの福山さんにも、テレビ朝日にも、情報は集まっていません(12月現在)。動きがありましたら、会報、HPにて報告いたします。

千鳥ヶ淵戦没者墓苑 秋季慰霊祭 米林美智子

10月18日、爽やかな秋晴れの下、マニシヤル方面遺族会会長代理として参列しました。

秋篠宮皇嗣同妃両殿下のご臨席を仰ぎ、規模を縮小しての式典でした。開会の辞について、航空自衛隊東京中央音楽

隊による国歌吹奏が行われ、献茶の儀、昭和天皇御製奉誦、上皇陛下御製奉誦のあと、音羽ゆりかご会による「海ゆかば」「里の秋」「みかんの花咲く丘」の3曲が奉唱されました。

内閣総理大臣（代理）の追悼の辞に続き秋篠宮皇嗣同妃両殿下のご拝礼、退場の後、陸海空自衛隊部隊が拝礼、来賓、遺族の献花が行われて式典は終了しました。

衆議院選挙公示日前日のため、衆参両議員の方々は大半が代理でした。

式典の後に、靖国神社へ参拝に行きましたら、音羽ゆりかご会のかわいいお子さま達が整列して参拝する姿を目にし、胸が熱くなり、改めて次世代に引き継いでいく重要性を痛感致しました。

ウオツゼ島48柱の納骨日について

11月に厚労省社会援護局事業課に確認しましたところ、平成30年度のウオツゼ島より帰還した48柱の御遺骨の納骨日は、いつになるか未定とのことです。令和2年9月に制度が見直され納骨の前

に、DNA判定会議等が地域ごとの遺骨に行われることになり、ウオツゼ島の遺骨の順番も非公開のためわかりません。知る方法としては、拝礼式の1週間前に厚労省HPに、どの地域の遺骨を納骨するか発表されるので、そこで確認してください、とのことでした。

訃報

片山玲子様（熊本県）
謹んでお悔やみ申し上げます。

新入会員（戦没者との続柄。島名）

- ・埼玉 藤田朋子様
（子・クエゼリン）
- ・北海道 阿部鎮夫様
（甥・クエゼリン）
- ・静岡 安西裕子様
（姪・ブラウン環礁）
- ・東京 井上賀彦様
（孫・故井上賀雄前会長ご子息
ルオット）
- ・埼玉 片山正臣様

（子・故片山玲子様の弟
クエゼリン）

ご入会ありがとうございます。

慰霊友好親善事業

3月に予定されていた戦没者遺児による慰霊友好親善事業、現地慰霊はコロナのため、中止となりました。

今後の取り組み

- 今後、各種勉強会などを開催していきたいと思えます。皆様からのご要望、ご意見もお待ちしております。
- 会報で紹介したいこと、当会へのご意見、ご要望、近況報告などお手紙やメールでお気軽にお寄せください。

在マーシャル日本大使館・情報

12月に、齋藤法雄大使から、前ブリスベン総領事の田中一成（タナカ カズナリ）大使に変わりました。

マジュロに遠洋練習航海「かしま」入港

海上自衛隊の練習艦「かしま」が、令和3年10月13日、マーシャル諸島共和国の首都マジュロを訪問しました。

練習艦のマジュロへの寄港は、歴史的にはじめてのことです。

本来であれば、寄港地に上陸し、地元住民との交流会など歓迎レセプションがあるはずでしたが、今回はコロナ禍のため、隊員は下船せずに、接岸のみとなりました。現地情報では、入港時は「かしま」船上で「島唄」の曲を演奏してくれたそうです。

また、マーシャル諸島共和国のキャスティン・ネムラ外務貿易大臣や在マーシャル日本大使館、齋藤法雄大使への表敬訪問もオンラインで行われました。

遠洋練習航海は（海上自衛隊幹部候補生学校の一般幹部候補生課程を卒業した）実習幹部に対し、長期にわたる洋上生活、各種訓練等を通じて、部隊勤務に必要な基礎的知識・技能の修得、指揮統率の基本を体得させる目的があります。



国内外で視野を広げ、初級幹部を育成し訪問国との友好親善の増進を図っています。遠洋練習航海は昭和32年以降、毎年実施しており、今回で65回目。表紙のように現地では、この歴史的機会をお互いの国旗を振って歓迎しました。マー



マジュロ港デラップドックに接岸する「かしま」

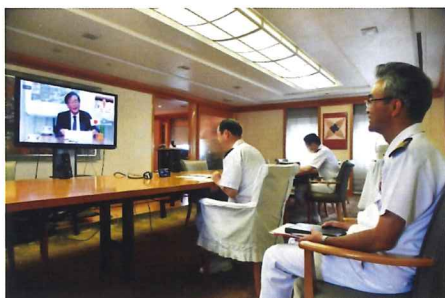
シャル諸島には約50名の邦人が在住していますが、こんなに多くの日本人（自衛官）の訪問は初めてのため、現地邦人は大変喜んだそうです。

マーシャルに眠る英霊は、後輩たちの訪問をどのように見ていたのか、尋ねてみたい気持ちになりました。せめて魂だけでも「かしま」に乗って、祖国日本に帰国して欲しいと願うばかりです。（鈴木）



美しくライトアップされた「かしま」

島に別れを告げる隊員



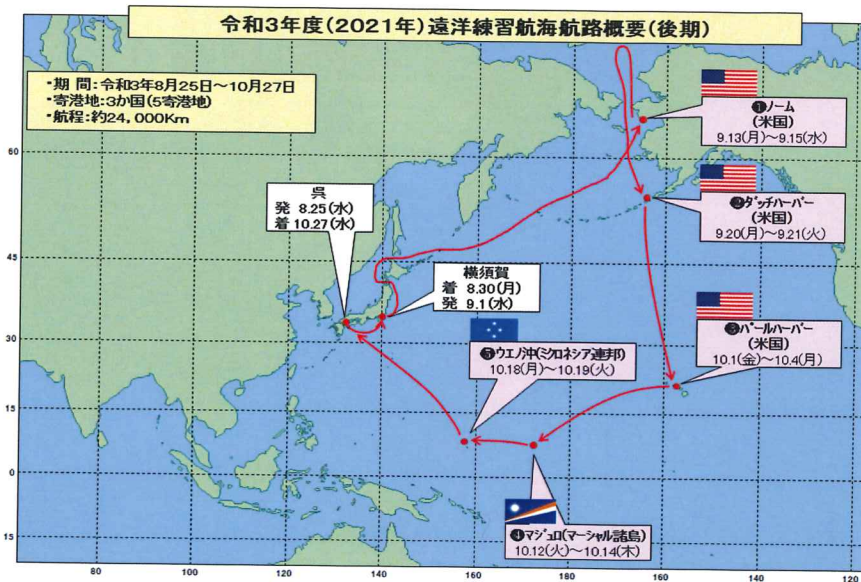
齋藤法雄駐マーシャル諸島共和国日本国大使にリモートで表敬訪問



甲板で各種の訓練が行われる



第71期一般幹部候補生課程修了者約110名(うち女性:約10名)
写真出典:海上自衛隊HPより



寄港地・アメリカ合衆国(ノーム、ダッチハーバー、パールハーバー)、
 マーシャル諸島(マジュロ)、ミクロネシア連邦(ウエノ島)

写真・出典:海上自衛隊HP